

春のひかり

No.51

—社会福祉法人春光学園後援会ニュース—

発行月日 令和6年1月吉日
〒238-0026 神奈川県横須賀市小矢部2-14-1
☎046-851-2362 FAX 046-851-2332

社会福祉法人 春光学園
児童養護施設 春光学園
<http://shunko-gakuen.jp/index.html>



社会福祉法人春光学園後援会 会長 岩崎 聖秀



新年おめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。

昨年はコロナが5類感染症に移行されたことを受け、学園にも少しずつ賑わいが戻ってきたことを感じる年となりました。子ども達と一緒に食事をとる機会も増え、少しずつですが「親戚のおじさん・おばさんが増えますプロジェクト」も稼働出来たことをとても嬉しく思っております。

また昨年は、学園の心理担当職員から、子ども達が辛かった過去ではなく少しでも前向きな将来展望を描けるような話を聞かせて欲しいという依頼を受け、学園が中高生を対象に行っているキャリアカウンセリングプロジェクトに協力する機会もいただきました。

その中で「制約の感覚」という言葉を知りました。それなりに恵まれた生活環境で育った子どもには、色々な可能性や選択肢があるという「権利の感覚」があることに対し、そうではない環境で育った子どもは、頑張ったところで将来には制約があるという感覚を育んでしまい、明るい将来をイメージすることが困難になってしまうそうです。

学園の子ども達も権利より制約の感覚が強いことを感じます。それでも、将来のことを考えると楽しくなる、彼らがそんな風に思えるよう、過去に目を向け過ぎず明るい未来の話沢山していきたいと思えます。

学園が新体制になり10ヶ月が経とうとしていますが、現場の人手不足は変わらず深刻な状況です。後援会はこの問題にも真摯に取り組む必要があります。まずはイベント等、今まで学園主導だったものを少しずつ後援会主導に切り替えていくことを目指します。その他にも、卒園後の生活サポートなど課題は山積みです。皆さまのお力が必要です。

引き続き学園の子ども達、彼らの一番近くにいる職員、そして後援会活動にも関心をお寄せいただきたく存じます。本年が皆さまにとって明るい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。



社会福祉法人春光学園理事長 森田 常夫



「春のひかり」を読んでくださっている皆様、新年おめでとうございます。

日頃から当法人に対しまして深いご理解と温かいご支援を賜り改めて心から感謝申し上げます。本年が皆様にとりまして良い年となりますことを心からお祈り申し上げます。

春光学園の子ども達は、どんな夢を見て新しい年を迎えたことでしょうか。彼ら彼女達にとって、楽しく希望あふれる1年でありますよう願っているところです。

児童養護施設 春光学園では、昨年12月16日に、4年ぶりに餅つきを行いました。

過ぎし1年に感謝を込め、来たる年の幸多かれと、子ども達は幼児から高校生まで代わる代わる元気よく杵を振り上げていました。そして、つきたてのからみ餅と豚汁をお代わりしながら楽しいひと時を過ごしました。

それは、春光学園の子ども達がお餅のように粘り強く頑張っ、真っ白なお餅に自分の味を付けて、自分の小世界を広げ築いてくれることを願って新しい年を迎えたいと願うひと時でした。

それにしても、何時ものことながらこの一瞬の行事のために朝早くから準備をして、素早く後片付けをして何時ものペースに戻してくれる職員たちに改めて「ご苦労様」と頭を下げる私がいまいました。

春光学園行事報告

春光学園ハロウィン開催！



令和5年10月17日、学園内にてハロウィンイベントを開催しました。子どもたちは思い思いに仮装を楽しみながら園内

を回り、「トリックオアトリート！」と弾むような笑顔を見せながら職員からお菓子をもらっていました。中には少し怖がっていた幼児さんもありましたが、一緒に回ったお兄さんお姉さんの優しさで無事にお菓子をゲットする事が出来ました。

来年も楽しいハロウィンになるといいね。



七五三 おめでとう



令和5年11月15日に5歳児1名、7歳児2名の計3名が七五三を迎えました。

美容院で初めての髪の毛セット&着付けにドキドキ。その後は、担当の先生や園長先生と衣笠神社に七五三のお宮参りに行きました。とても可愛い着物姿で素敵な記念になりました。



防衛大学校開校祭招待



令和5年11月12日に幼児さんと小学生が防衛大学校の開校祭に招待していただきました。学生のお兄さん、お姉さんのエスコートで校内を回ったり、一緒に遊んだりして楽しい時間を過ごしました。最後は棒倒しを見学し、その迫力に圧倒されながらも大興奮の子どもたちでした。防衛大学校の皆様、ありがとうございました。



児童福祉施設駅伝大会



令和5年11月18日にこどもの国で行われた児童福祉施設駅伝大会に参加しました。

子どもたちと職員は一生懸命に練習を重ねて大会に臨みました。

今年は男女両チームとも小学生中心だったこともあり、それぞれ最下位という結果でした。しかし、それぞれが完走することを目標に練習を重ね、無事に全員が目標を達成する事ができました。

子どもたちも一緒に走った職員もよくがんばりました！



お疲れさまでした！！



令和 6 年 1 月 20 日

〒238-0015

神奈川県横須賀市田戸台 26

TEL : 046-822-0479

FAX : 046-822-0471

《園長あいさつ》

新年明けましておめでとうございます。

後援会の皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。

この度の令和6年能登半島地震によりまして、新年の幕開けは大変厳しいこととなってしまいましたが、お亡くなりになった方々へのお悔やみと、被災された皆様にはお見舞いを申し上げますとともに、寒さが一層厳しい中ですが、一日も早く穏やかな日常が戻りますことを心よりお祈り申し上げます次第です。

新年初めの始業式の中で、子どもたちにも地震の恐ろしさや今の状況を伝えますと、子どもたちも感じるころがあったのだと思いますが、皆、真剣なまなざしでお話を聞いていました。こども園でも毎月避難訓練を行っていて、地震がきたら頭を守って机の下に入る、煙が出たら鼻と口を押えるなど、繰り返すことで身につけて、先生に指示されなくても咄嗟に動く事が出来るようになっていきます。「備えあれば患いなし」、防災への意識を改めて強く感じているところです。更に、日本航空機と海上保安庁機のいたたまれない事故ですが、その中での日航の乗務員の方の行動には、頭の下がる思いがいたしました。私たちも大切なお子様の命を預かる者として、見習うべきものが多くあると思わずにいられませんでした。

様々な思いの中での年明けですが、本年も子どもたちの笑顔のために、職員一同力を合わせて教育・保育に取り組んでまいります。

本年も皆さまのご理解とご支援の程、よろしく願いいたします。



《お年寄りご招待》



10月20日(金)、地域の老人会(九十九会)の方12名を園にお招きし、ふれ合いの会を開催しました。

はじめに、ひよこ組(0歳児)からゆり組(5歳児)の子どもたちが歌やダンスを披露しました。どのクラスの余興もとても喜んでいらっしゃいましたが、中でもゆり組による『上を向いて歩こう』の歌はとても感動されたご様子でした。

会の最後にはみんなで一緒に『まっかな秋』を歌い、楽しいひと時を過ごすことができました。



《お芋掘り》

11月9日(木)、ゆり組5歳児の子どもたちは、春光学園理事の松谷先生の畑でお芋掘り体験をさせていただきました。

電車で現地に向かったのですが、駅についてから松谷先生のお宅まではかなり遠く、途中急な坂道も登ったりしながら何とかたどり着きました。

松谷先生が、子どもたちが到着する前にあらかじめお芋を掘りやすいように準備しておいて下さったため、すいすいと、びっくりするほどの量のお芋を掘る事が出来ました。

掘ったお芋をリュックの中にパンパンに詰め、元来た道を歩いて園まで戻ってきた子どもたち。さすがに疲れた様子でしたが、持ち帰ったお芋を見て満足そうな表情を浮かべていました。



たくさんとれたよ♪



楽しかった作品展



11月11日(土)、上町・安浦分園に於いて作品展が行われました。昨年、ようやくコロナ規制が緩和されたため、パパやママだけでなく、兄妹やおじいちゃま・おばあちゃまもご招待し、4月から少しずつ作りためてきた絵画や制作物をたくさんの方にご覧いただくことができました。

展示された作品から、日々成長していく子どもたちの姿を感じ、保護者の皆様も喜びをかみしめていらっしやうでした。

今後もこうしたイベントを通じ、日ごろの子どもたちの様子を積極的にお伝えしていきたいと思っています。



§ 上町分園 §



§ 安浦分園 §



《勤労感謝訪問》

11月22日(水)、ゆり組5歳児の子どもたちは県立大学駅へ勤労感謝訪問に出掛けました。

お忙しい中駅員さんが対応してくださり、子どもたち手作りのパネルと花束をプレゼントさせていただきました。

駅長さんに「ありがとう」と声をかけられると、子どもたちも嬉しかったようで始終ニコニコしていました。

いつもありがとう
ございます



《劇団四季鑑賞》

12月8日(金)、ゆり組5歳児の子どもたちは観光バスに乗って、舞浜アンフィシアターへ劇団四季のミュージカル『美女と野獣』を観に行ってきました。

本格的な舞台セットや音響にびっくりした子どもたち。ちょっぴり怖い場面もあったため、始終ドキドキしながら夢中でみていました。

帰りのバスの中でも興奮冷めやらず。「とっても楽しかったね!」と、それぞれ印象に残った場面について話し合っていました。



§ 編集後記 §

毎年同じことなのですが2学期は行事がたくさんあり、幼児クラス、特にゆり組の子どもたちは大忙しでしたが、さすがは年長クラス!どの行事も楽しみながら、全力で臨んでいました。一つひとつの行事を行うたびに、来年はもう一緒に楽しむことは出来なくなるのだ・・と、何とも切ない気持ちになります。

3学期も生活発表会に始まり、節分・ひな祭り・お別れ会・卒園式と行事が続きますが、たくさんの楽しい思い出を作っていきたいと思っています。

新園長

原田園長のつぶやき

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願い申し上げます。

元旦お雑煮やお節を食べた後、園庭で凧揚げをしたり、独楽回しをしたりと思いきや誰もしていませんでした。でも考えてみれば、ここ何年も正月に凧をあげている子どもも、独楽を回しているのも見た記憶がないようです。だいが正月の風景は変わってしまったようです。(年寄りの郷愁です)子どもたちにとってお正月は特別なことではないのですかね。

それよりクリスマスではベースから子どもたち一人一人にプレゼントを贈られ、また多くの方にケーキやお菓子をいただき(この場を借りてお礼申し上げます)、子どもたちは年末まで堪能していました。中には食べすぎで胃腸炎になる子どもちらほらいて心配しました。ひとつだけ昔と同じことがありました。お年玉です。お年玉を渡した時の満面の笑顔は最高でした。

…と、お正月の話を書きましたが、先生たちは変わらずに勤務しているんですよね。世の中には病院であったり、入所系の福祉施設であったり 24 時間 365 日業務のある職場というものには存在しますが、世間全体がお休みモードの中、一生懸命(月並みの言い方でごめんなさい)子どもたちに向き合ってくれる職員には感謝しかありません。昨年4月に春光学園に来て、先生方を見ていて凄いな、どうしてこんなに頑張れるんだろうと思っています。朝6時半から夜10時までの勤務で、休みも少ないし、なかなか取れない。信じられないです。先生方の児童養護施設で子どもたちと向き合うという高い志と、強い覚悟があるからですね。

でも先生方の気持ちにおんぶに抱っこではなく、働きやすい職場にするのは園長の仕事ですね。

そんな先生に子どもたちがつけた呼び名を紹介します。

子どもって本当にすごいですよね。

今回紹介するのは、パワフルで元気で大きい松村職業指導員は「マッチョ」です。



10～12月にご支援を頂いた皆様

住まいるハウス様、伊藤様、Balloom Shop plume 様、新倉会計事務所様、長井様、なかよし子ども食堂様、CHUM´S BAR 様、西来寺様、福島様、三方原学園様、住友重機械工業(株)横須賀製造所様、関本様、中野様、エフベ モセン様、関東学院六浦小学校様、石黒様、(株)昇英企画様、全国ジャンル協同組合様、(有)辰若様、小松様、(株)ラッシュ様、RISING SONS Motorcycle Club YOKOSUKA JAPAN 様、小山様、ファミリーマートFC 横須賀衣笠店様、(有)興亜工業様、ヤマグチ事務所様、横溝様、(株)プレナスほっともっと様、日本鏡餅組合様、明治安田生命保険相互会社横浜支社三浦営業所様、平川商事(株)様、(株)城水様、横須賀芸術文化財団様、住友重機械工業(株)横須賀製造所様、ワールドメイト様、(株)チュチュアンナ1%クラブ様、毎日新聞東京社会事業団様、(株)久里浜中央会館久里浜中央自動車学校様、鈴木設計(株)様、(株)トーヨー様、キコーナ横須賀店様、Miura Sewing Ohana 様、石井フジ江様、浦様、(株)カレンズ様、亀田様、三浦様、横・横代理店倶楽部様、松山様、(株)カプセルZ様、松田宜久税理士事務所様、(株)SL Creations 様、小田切様、加部様、16 ミリ試写室様、野沢様、NM フードサービス様、冨澤工業様、防衛大学校春光学園交流会様、(株)湘南衣笠ゴルフ様、田中様、ROUNGE DOLCE 様、SASP 様、SASP 横須賀支部様、Satoshi 様、小矢部町内会一区四組・五組様、美容室亜土里絵様、(有)山下インテリアクリーニング サービス様、(有)東洋紙業様、平松様、わたなべ様、松田様、(株)高戸工務店様、片倉様、横須賀友の会様、石井茂子様、石井千香子様、恩田様、菅沼様、地域の絵画展様、山岸様、金子様、かねこ耳鼻咽喉科様、Lance 様、Amanda 様、Cooper 様、Flood 様、(株)クロサワエンジニアリング様、岩崎様、アメリカ海軍 COMS 様、P.EN.S(株)様、寿司いじま様、染谷様、伊藤様、小島様、宇野様

たくさんのご支援ありがとうございました！

(順不同)

後援会費を納めていただきました皆様へ

子ども達のためにお心遣いをいただきましたこと、心から感謝申し上げます。子ども達の社会的自立に必要な学びの機会、子ども達が退園する際に少しでも不安のない就職・進学のため大切に使用させていただきます。本来であれば、広報誌に後援会費(ご寄付)を納めていただきました皆様のお名前を掲載するところではありますが、紙面の都合上掲載をしておりません。

なお、ご希望の方のみ領収書をお送りしております。出来る限り後援会運営経費を抑え、子ども達のために会費(ご寄付)を使用させていただきたいため、ご理解の程お願い申し上げます。

また、お世話になっている皆様をご招待しての行事を開催出来ずにありますこと、大変申し訳なく思っております。引き続き、広報誌「春のひかり」やホームページをご覧いただき、春光学園の取り組みについてご理解いただければ幸いです。

皆様からの温かい励ましのお言葉やお心遣いに支えられ、今後も子ども達のより良い未来のために後援会・職員として精一杯子ども達を支援していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。